

【メニューと自然言語をベースにしたチャットボットとのコミュニケーション】

Microsoft

①要約：

マイクロソフトのこのチャットボットの発明は、チャットボットが適切なメニューを表示し、ユーザーの質問や要望に応じて柔軟に対応するシステムを提供するものです。

②目的：

このアイデアの目的は、ユーザーエクスペリエンスを向上させることであり、チャットボットがリアルタイムでメニューを生成することや、過去の履歴からオーダーを再開できる機能などを通じて、ユーザーが簡単に情報を得て行動できる環境を提供することにあります。

③新規性：

このアイデアの新規性は、チャットボットが迅速かつ柔軟にメニューを生成し、過去の履歴を活用することで、従来のチャットボットとは異なるユーザー体験を提供する点にあります。

④独自性：

このアイデアは、チャットボットが自動的に適切なメニューを生成し、ユーザーの要望に応じて適切な情報を提供する機能が独自のであり、他社との差別化を図っています。

⑤経済価値：

このアイデアは、ユーザー体験の向上を通じて顧客の満足度を高めることができるため、企業にとっての経済的価値が高いと言えます。また、特許取得により競合他社との差別化を図り、市場における競争力を強化することができるでしょう。